

2027年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年7月31日

上場会社名 株式会社 ヨシタケ
コード番号 6488 URL <https://www.yoshitake.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 哲
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼経営企画室長 (氏名) 間野 文祥
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 050-3508-5835

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	2,907	11.4	408	24.7	569	32.5	413	35.9
2026年3月期第1四半期	2,610	18.7	327	67.5	429	26.9	303	25.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 533百万円 (689.4%) 2026年3月期第1四半期 67百万円 (88.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	32.48	—
2026年3月期第1四半期	23.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	21,049	18,564	87.5	1,448.38
2026年3月期	21,306	18,481	86.0	1,441.52

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 18,420百万円 2026年3月期 18,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,424	6.3	786	13.8	964	8.7	720	32.4	56.61
通期	11,080	7.1	1,520	15.1	1,930	16.0	1,390	6.0	109.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	13,326,389 株	2026年3月期	13,326,389 株
2027年3月期1Q	608,557 株	2026年3月期	608,557 株
2027年3月期1Q	12,717,832 株	2026年3月期1Q	12,717,832 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、[添付資料] P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や賃金上昇を背景に個人消費が底堅く推移したほか、設備投資も堅調で、景気は緩やかな回復基調を維持いたしました。一方で、米国の通商政策の動向や海外経済の減速懸念など先行き不透明な要因がみられたものの、輸出は一部に持ち直しの動きがみられました。今後につきましては、海外経済や通商政策の動向など先行き不透明な要因はあるものの、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の底堅い推移や設備投資の継続により、内需主導による緩やかな景気回復が続くことが期待されます。海外経済においては、米国経済は、良好な雇用環境や底堅い個人消費に支えられ、総じて堅調に推移いたしました。一方で、インフレ率はなお目標水準を上回る状況が続き、通商政策を巡る不透明感も継続いたしました。こうした中、設備投資はA I・半導体関連分野を中心に堅調に推移し、米国経済は緩やかな成長基調を維持いたしました。欧州経済は、雇用環境が底堅く推移したものの、個人消費や設備投資の回復は緩やかなものとどまりました。一方で、物価上昇圧力がなお残るほか、地政学的リスクやエネルギー価格の動向などを背景に先行き不透明な状況が続きました。こうした中、欧州経済は緩やかな回復基調を維持したものの、総じて力強さを欠く状況で推移いたしました。中国経済は、政府による政策支援が継続されたものの、不動産市場の低迷や内需の弱さを背景に、景気回復は緩やかなものとどまりました。一方で、輸出は底堅く推移したものの、通商環境を巡る不透明感が継続いたしました。こうした中、中国経済は一部に持ち直しの動きがみられたものの、総じて力強さを欠く状況で推移いたしました。今後の世界経済につきましては、地政学的リスクや通商政策を巡る不透明感など、先行き不透明な状況が継続するものと見込まれます。一方で、底堅い個人消費やA I・半導体関連分野を中心とした設備投資が景気を下支えし、世界経済は不透明感を抱えつつも、総じて緩やかな成長が続くことが期待されます。

当社グループにおきましては、国内外のマーケットへ向け営業活動を強化してまいりました結果、国内顧客向け販売では、当社の主力製品である減圧弁の販売が堅調に推移したほか、工場設備市場において、省エネルギー効果・CO₂削減効果に寄与するワイズジャケットや、医療機関、医薬品工場、食品工場及び化学工場向けのマグネットミキサーが好調に推移したことなどにより、国内売上高は前期を上回りました。海外顧客向け販売では、円安基調を追い風として好調に推移し、海外売上高も前期を上回りました。この結果、販売活動全体としては前期を上回りました。今後につきましては、販売活動において、国内外の建築設備物件の受注獲得に努めるとともに、流通、エンドユーザー、建築物件の三つの領域で営業強化を推進し、海外販路の更なる拡大を図ってまいります。製品開発においては、製品ラインアップの拡大および新市場へ投入できる製品開発を推進し、開発スケジュールの厳守と開発期間の短縮により、開発力の強化に努めてまいります。さらに、内製化を含むサプライチェーンの多様化や、自然災害およびナフサ関連材料の調達性への対策強化など、リスク管理の強化に取り組んでまいります。また、流体制御バルブの販売を通じて顧客の省エネを支援するとともに、社内においてもより一層の省エネを推進し、販売地域の拡大および新市場への参入を進めることで、サステナビリティ経営を推進し、企業価値の向上に努めてまいります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き積極的な提案営業を展開しました結果、連結売上高は29億7百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

損益面では、生産の効率化、工数低減やコスト削減を徹底した結果、営業利益は4億8百万円（前年同期比24.7%増）、経常利益は5億69百万円（前年同期比32.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億13百万円（前年同期比35.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は210億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億56百万円減少しました。主に投資有価証券が9億27百万円増加した一方、現金が6億48百万円減少したこと、有価証券が5億86百万円減少したことなどによります。

負債は24億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億40百万円減少しました。主に支払手形及び買掛金が1億89百万円増加したこと、短期借入金が98百万円増加した一方、未払法人税等が4億87百万円減少したことなどによります。

純資産は185億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円増加しました。主に配当金を4億45百万円支払ったことなどにより利益剰余金が32百万円減少した一方、為替換算調整勘定を1億11百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月15日付決算短信にて開示いたしました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,160,220	3,511,244
受取手形及び売掛金	2,158,779	2,150,512
電子記録債権	1,104,761	1,162,933
有価証券	718,396	132,198
商品及び製品	1,650,341	1,671,887
仕掛品	1,061,813	1,097,422
原材料及び貯蔵品	1,173,364	1,237,043
その他	300,378	240,715
貸倒引当金	△35,399	△37,348
流動資産合計	12,292,656	11,166,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,054,729	4,094,107
減価償却累計額	△2,428,556	△2,471,861
建物及び構築物（純額）	1,626,172	1,622,246
機械装置及び運搬具	5,565,485	5,653,123
減価償却累計額	△4,296,236	△4,370,113
機械装置及び運搬具（純額）	1,269,248	1,283,009
土地	1,341,591	1,343,081
リース資産	424,570	428,779
減価償却累計額	△111,871	△127,776
リース資産（純額）	312,698	301,003
建設仮勘定	47,065	46,048
その他	1,316,036	1,302,370
減価償却累計額	△1,187,517	△1,198,854
その他（純額）	128,519	103,516
有形固定資産合計	4,725,297	4,698,904
無形固定資産		
のれん	590,510	557,675
その他	107,242	105,302
無形固定資産合計	697,753	662,977
投資その他の資産		
投資有価証券	3,094,627	4,021,703
その他	495,821	499,025
投資その他の資産合計	3,590,448	4,520,729
固定資産合計	9,013,499	9,882,611
資産合計	21,306,155	21,049,222

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	452,034	641,847
短期借入金	19,789	118,786
1年内返済予定の長期借入金	1,748	—
未払法人税等	592,119	104,242
賞与引当金	204,012	145,210
その他	638,354	521,113
流動負債合計	1,908,059	1,531,200
固定負債		
リース債務	199,281	185,553
役員退職慰労引当金	163,224	143,387
退職給付に係る負債	422,865	419,616
資産除去債務	48,378	48,706
その他	83,258	155,998
固定負債合計	917,008	953,263
負債合計	2,825,068	2,484,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,908,674	1,908,674
資本剰余金	2,657,539	2,657,539
利益剰余金	11,467,840	11,435,785
自己株式	△244,975	△244,975
株主資本合計	15,789,078	15,757,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88,918	96,381
為替換算調整勘定	2,455,028	2,566,810
その他の包括利益累計額合計	2,543,947	2,663,191
非支配株主持分	148,061	144,542
純資産合計	18,481,087	18,564,758
負債純資産合計	21,306,155	21,049,222

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,610,001	2,907,316
売上原価	1,593,814	1,749,213
売上総利益	1,016,186	1,158,103
販売費及び一般管理費	688,703	749,874
営業利益	327,483	408,229
営業外収益		
受取利息	14,261	14,490
受取配当金	912	1,353
出資分配金	68,651	1,227
持分法による投資利益	97,931	94,854
為替差益	—	31,489
その他	10,731	25,920
営業外収益合計	192,487	169,335
営業外費用		
支払利息	4,273	2,632
為替差損	80,983	—
出資分配金	410	3,391
その他	4,701	2,509
営業外費用合計	90,369	8,533
経常利益	429,601	569,031
税金等調整前四半期純利益	429,601	569,031
法人税、住民税及び事業税	90,419	85,926
法人税等調整額	33,507	70,923
法人税等合計	123,926	156,850
四半期純利益	305,675	412,181
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,861	△843
親会社株主に帰属する四半期純利益	303,813	413,024

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	305,675	412,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,568	7,462
為替換算調整勘定	△2,356	54,455
持分法適用会社に対する持分相当額	△228,137	59,650
その他の包括利益合計	△238,062	121,568
四半期包括利益	67,613	533,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,040	532,268
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,427	1,481

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

当第1四半期連結会計期間より、連結子会社であるヨシタケバイオマスエンジニアリング株式会社の決算日を1月31日から3月31日に変更し連結決算日と同一としております。この決算期変更に伴い、当第1四半期連結会計期間における当該連結子会社の会計期間は5ヶ月となっており、決算期変更に伴う影響額は連結損益計算書を通じて調整しております。なお、この変更による当第1四半期連結会計期間に与える影響は軽微であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	127,499千円	137,639千円
のれんの償却額	32,835	32,835

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	日本	アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	1,880,166	729,834	2,610,001
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,880,166	729,834	2,610,001
セグメント間の内部売上高又は振替高	58,542	508,509	567,051
計	1,938,708	1,238,343	3,177,052
セグメント利益	240,631	96,354	336,985

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	336,985
セグメント間取引消去	2,102
棚卸資産の調整額	△11,605
四半期連結損益計算書の営業利益	327,483

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	日本	アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	2,107,393	799,923	2,907,316
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,107,393	799,923	2,907,316
セグメント間の内部売上高又は振替高	48,315	655,820	704,135
計	2,155,708	1,455,744	3,611,452
セグメント利益	284,656	119,844	404,500

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	404,500
セグメント間取引消去	103
棚卸資産の調整額	3,625
四半期連結損益計算書の営業利益	408,229

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。